製造技術を医療発展に

神戸で「国際フロンティア産業メッセ」

材料技術で常に人だかりができていたのは、川本重工のブース。目玉の一つが最大引張応力1152・6MPaの純チタンで、市場に流通しているものと比べて、「強度が飛躍的に上がった」（大原健治営業顧問）。これまで実用化が難しかったインプラントなどで使われることを想定しており、ブースでは山ピッチ約0・6ミリメートルの微小ビスなどを写真で見せていた。